

痛みに対する漢方

日本臨床漢方医学会

頭痛・腹痛

漢方的解釈とその治療

西洋医学的病態認識を利用して考える

大野クリニック

大野修嗣

2021年6月13日



頭痛

症例 39歳 女性 主訴:頭痛

- 〔現病歴〕 数年前からの頭痛
市販のロキソニンSを毎週4・5錠を服用している
嘔気・胃痛も出現して来院
- 〔身体所見〕 169cm. 52Kg. 血圧109/61mmHg. 脈拍55/分
胸腹部の聴診上異常所見なし
- 〔検査所見〕 FGS:びらん性胃炎
- 〔診断〕 筋緊張型頭痛

症例 39歳 女性 主訴:頭痛

〔漢方所見〕 頭痛, 首こり, 手足に冷えがある
胃の不調(最近, 胃痛も出現)
齒痕舌(++), 舌下静脈(+). 沈遅細脈. 臍上悸

〔処方〕 頭痛・首こり・胃弱・手足の冷え
→ **呉茱萸湯**

〔経過〕 1週間後 : 胃の不調が改善. 継続を希望
1ヵ月後 : ロキソニンSをときに服用. 頓用とした
6ヶ月後 : 呉茱萸湯もほとんど服用なし

呉茱萸湯

呉茱萸・生姜・人参・大棗

〔構成生薬〕 君薬の呉茱萸は 辛苦大熱，降気，燥湿

〔使用目標〕 手足の冷え 胃弱 項のこり

- 『傷寒論』 少陰病篇 少陰病，吐利し，手足逆冷し，
煩躁死せんと欲する者は 呉茱萸湯之を主る
- 『傷寒論』 厥陰病篇 乾嘔して涎沫を吐し，頭痛する者は
呉茱萸湯之を主る
- 『金匱要略』 嘔して胸満する者は，呉茱萸湯之を主る

呉茱萸湯 の合方の例

症状	合方する漢方薬
項のこりが強い	葛根湯 or 桂枝湯
低気圧で頭痛	五苓散
手足の冷え高度	当帰四逆加呉茱萸生姜湯

症例 55歳 女性 主訴:頭痛

〔生活歴〕 専業主婦. 趣味は旅行

〔現病歴〕 10年前から時々片頭痛が出現
エルゴメトリン製剤を時々服用していた
雨の前日に頭痛. 直前に異臭を感じる
最近, エルゴメトリン製剤の服用が多くなった

〔身体所見〕 162cm, 50Kg. 血圧121/63mmHg. 脈拍81/分
胸腹部の聴診他異常所見なし

症例 55歳 女性 主訴:頭痛

〔漢方所見〕 望診:体格良好で元気な様子
舌診:歯痕(++), 薄白苔, 舌下静脈(++)
問診:頭痛・嘔気・口渇がある. 軟便傾向
口渇あり水分を摂りたいが, 上手く飲めない
切診:浮滑脈. 臍上悸, 心下振水音 (水毒)

〔処方・経過〕 口渇(水毒)・頭痛・嘔気から **五苓散** を処方
本処方を服用してお酒に強くなった
冬になって手足が冷えてまた頭痛が出現
呉茱萸湯 を併用とした

五苓散

〔生薬構成〕 茯苓・猪苓・沢瀉・蒼朮・桂皮

〔適応病態〕 水分代謝(体液の偏在;水毒)を正常化する
＝飲水の処理機能低下に対応
＝水毒による頭痛, 嘔吐, 下痢, 発熱

〔使用目標〕 口渇, 尿量減少, 浮腫

〔臨床応用〕 口渇・頭痛・下痢・悪心・嘔吐などをともなった
感冒 熱中症 感染性胃腸炎 二日酔い 腎炎

‘水毒’とは

〔臨床症状〕 口渇, 尿量の減少・増加
浮腫, 嘔吐, 下痢
二日酔い
低気圧に敏感

〔漢方所見〕 齒痕舌
胃内停水
心下振水音



食いしばり

Tolvaptanと五苓散

- Tolvaptan
浸透圧を介して低張性の水分だけを排出する水利尿
= Na利尿を介さない
- 五苓散
二日酔(等調性脱水)に対して体液維持に働く
体液貯留にはNa利尿を介さずに水利尿として働く
- 併用によってTolvaptanの副作用(頻尿, 多尿, 脱水, 口渇, 吐き気, 下痢, めまい, ふらつき, 頭痛)を回避する

症例 54歳 女性 主訴:頭痛

〔既往歴〕 鼻炎 易感染性 冷え症 片頭痛

〔現病歴〕 3日前に悪寒. その後頭痛
手持ちのリザトリプタン服用するも効果なし
市販薬の総合感冒薬も効果なく来院

〔身体所見〕 体温36.8 °C. 154.5cm 46.1Kg
血圧109/65mmHg, 脈拍81/分, 整
咽喉・胸腹部に異常なし

症例 54歳 女性 主訴：頭痛

〔漢方所見〕

望診：ややボーッとしている

舌診：歯痕(+), 白苔. 舌下静脈(++)

問診：悪寒と頭痛が主症状

咳なし, 咽頭痛なし. 頭痛で食欲ないが,
排便・排尿に異常なし

切診：浮緩脈 腹力軟

症例 54歳 女性 主訴：頭痛

〔 処方 〕 悪寒，頭痛から

川芎茶調散 を処方

〔 経過 〕 2日後来院：頭痛は服用20分で改善

合計4包服用

片頭痛の薬として処方を希望

川芎茶調散

川芎・荊芥・防風・薄荷・香附子・白芷・羌活・細茶・甘草

〔薬能〕

川芎 = 活血行気・去風止痛

白芷・羌活・香附子・防風 = 鎮痛作用

薄荷以外は温性. 温めながら風邪を発散

〔目標〕

悪寒・頭痛（発熱はあってもよい）

〔鑑別〕

葛根湯：悪寒・無汗・項のこり

五苓散：水毒＝熱感・口渴・尿量異常・嘔気

呉茱萸湯：手足の冷え・胃弱・項のこり

急性熱性疾患時の頭痛

	悪寒	頭痛	汗	その他
麻黄湯	++	+	無汗	筋痛・関節痛
葛根湯	++	+	無汗	項のこり 発熱
桂枝湯	+	+	微発汗	胃弱
川芎茶調散	++	+++	無汗	
桂枝二越婢一湯	熱感	+	発汗	熱感, 筋痛・関節痛

頭痛に対する漢方治療の意義

- 漢方薬がとくに有効な頭痛がある
- 薬物乱用頭痛からの回避が可能となる場合がある
- 西洋薬を使用できない場合にも使用できる
 - 腎機能障害・胃潰瘍などでNSAID使用不可
 - 虚血性心疾患, 脳血管障害, エルゴメトリン服用の女性
→トリプタン系は使用不可
 - 狭心症, 閉塞性血管障害 →エルゴタミンは使用不可

まとめ

片頭痛, 緊張型頭痛, 三叉神経・自律神経性頭痛など
西洋医学的な頭痛分類とは別の視点で頭痛を捉える



寒証, 熱証, 気血水, 傷寒

など 漢方理論に従って選択

- 例
- | | | |
|-------------------|---|-------|
| 寒証: 冷え症がある・冷えると頭痛 | → | 呉茱萸湯 |
| 水毒: 口渇・嘔気・低気圧で頭痛 | → | 五苓散 |
| 傷寒: 感冒・悪寒に伴う頭痛 | → | 川芎茶調散 |

腹痛



症例 59歳 女性 主訴:腹痛

- 〔既往歴〕 高コレステロール血症 便秘 片頭痛
アトルバスタチン 酸化Mg リザトリプタン(適宜)
- 〔現病歴〕 一昨日から右上腹部痛が出現して前日は不眠
2021年2月17日上腹部痛で来院
- 〔身体所見〕 体温36.8°C 血圧146/88mmHg 脈拍91/分
- 〔検査〕 WBC 12770/ μ L CRP 0.12 AST 176 ALT 67
 γ GTP 77
腹部CT scan:総胆管結石

症例 59歳 女性 主訴：腹痛

〔漢方所見〕

望診： 苦悶様顔貌

舌診： 黄白色舌苔， 舌下静脈(++)

問診： 右上腹部痛があり， 右肩が重苦しい
排便・排尿に問題なし

切診： 沈弦脈． 右上腹部の圧痛・抵抗

症例 59歳 女性 主訴:腹痛

〔処方〕 総胆管結石があり急性の腹痛から
芍薬甘草湯 を3日分処方
手術が必要と判断して外科へ紹介

〔経過〕 翌々日:医大の消化器外科入院
3日後:内視鏡的逆行性胆道造影検査で胆石なし
自然脱落と判断され,腹痛も改善で退院
5日後:WBC 4790/ μ L CRP 0.05E
AST 24 ALT 20 γ GTP 67

芍薬甘草湯は急性期

筋拘縮・攣縮を伴った急性の疼痛に有効

横紋筋にも平滑筋にも有効



こむら返り

尿管結石

胆石発作

しゃっくり

Abdominal migraine



マメ科の芍薬の根又はstolon

これを炙ったもの

性味；苦，微寒

薬能；清熱涼血・活血祛瘀

古典の記載：腹痛に対する芍薬甘草湯

- 尾台榕堂『類聚方広義』

腹中攣急して痛む者を治す

小児夜啼き止まず腹中攣急甚だしき者にも亦奇効あり

- 浅田宗伯『勿誤薬室方函口訣』

此方は脚攣急を治するが主なれども、諸家、腹痛

及び脚気両方の足或は膝頭痛み屈伸すべからざる者、

其の他、諸急痛に運用す

症例 33歳 女性 主訴:腹痛

〔現病歴〕 7月26日夜から腹痛が出現
手元にあった薬(抗コリン剤)を服用
7月28日腹痛が持続. 排便なし

〔身体所見〕 体温35.4°C. 156cm. 48Kg
血圧103/70mmHg, 脈拍68/分
心窩部の圧痛
腸雑音聴取せず



症例 33歳 女性 主訴:腹痛

〔漢方所見〕

望診:腹痛で苦悶様の表情

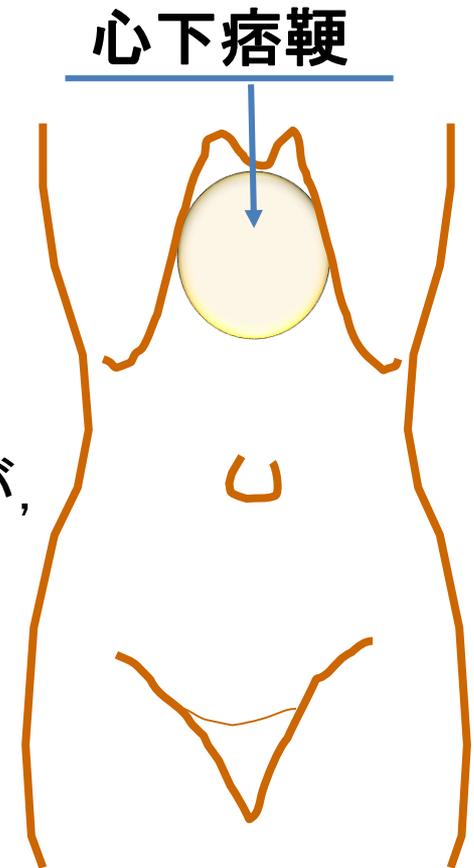
舌診:淡白色の湿舌. 舌下静脈(+)

問診:7月26日は夏祭りに行った

カキ氷, アイスクリーム, 冷やしキュウリ
胃腸薬(抗コリン剤)を服用して軽減したが,
すぐに再発

普段は軟便傾向だが2日間排便がない

切診:沈弦遅脈. 心下痞鞭(++).



症例 33歳 女性 主訴：腹痛

〔処方〕 冷えが原因の腹痛・便秘で**大建中湯**を考慮
しかし、主に心窩部痛
冷え症をもつ症例の心窩部痛には**安中散**
しかし、**心窩部の冷えが高度**
「胃寒」に使用する **附子理中湯** を処方

〔経過〕 計3回服用して昼には排便あり、腹痛改善
腸雑音は正常に復帰

治療終了

附子理中湯

〔構成生薬〕 人参 乾姜 蒼朮 甘草 = 人参湯 + 附子

〔使用目標〕 上腹部の冷え, 下痢, 便秘, 心下痞

〔漢方所見〕 舌: 湿潤・薄い白苔 脈: 沈細弱

腹: 軟弱な腹壁, 心下痞鞭, 上腹部の冷感

〔鑑別〕 安中散: 冷え, 上腹部痛, 下痢がない

人参湯: 上腹部の冷え, 下痢, 心下痞, 腹痛軽度

真武湯: 下腹部痛, 全身の冷え, 眩暈

心窩部痛

☆寒証 心窩部灼熱感・冷え症・神経質



安中散

☆心窩部の高度の冷え

胃部不快感, 下痢, 便秘, 心下痞



附子理中湯

☆心窩部の圧痛・抵抗 腹痛(熱証)

悪心・嘔吐・下痢・便秘



黄連湯

機能的ディスペプシアの漢方治療

食後愁訴症候群

つらいと感じる
食後のもたれ感

食物がいつまでも
胃内に停滞した感じ

平胃散 / 茯苓飲

早期飽満感

少し食べると
すぐにお腹一杯

六君子湯

心窩部痛症候群

心窩部痛・心窩部灼熱感

心窩部痛: 不快な痛み・
心窩部が辛い

心窩部灼熱感:
冷え/熱感を伴う不快感

安中散 / 黄連湯

参考文献

Tack J, et al. Gastroenterology 2006; 130(5):1466

症例 76歳 男性 主訴:腹痛

〔既往歴〕 退職後腸閉塞にて5回の入院手術

〔現病歴〕 寒冷の気候で再び排便困難・腹痛
ルビプロストンで軟便となる。便意が弱い
入院を覚悟したが漢方薬治療を希望

〔身体所見〕 162cm 41Kg 血圧105/83mmHg 脈拍59/分

〔検査〕 WBC 8700 Hb 10.9 T-P 6.4 CRP 0.83

ESR 38mm/h

腹部レ線にて大腸にガス貯留 他異常なし

症例 76歳 男性 主訴:腹痛

〔漢方所見〕 肌は乾燥. 燥白苔, 舌下静脈(±)
腹痛は軽度だが排便ない
遅濇脈. 腹皮拘急, 腹壁に冷感を触知

〔処方〕 **大建中湯** を15g/日処方

〔経過〕 1週間後:腹痛軽快したが便意が弱い
大建中湯を朝昼として夕食前に**麻子仁丸**2.5g追加
1年後:体重が43Kgに増加
その後12年間継続服用中で入院歴なし

大建中湯

〔何をどう治す〕 胸腹部の冷え→便秘・腹痛・下痢
蠕動不穩. 腸雑音低下. 腹力軟弱

〔構成生薬〕 山椒(大辛・大熱) } 温性刺激
乾姜(大辛・大熱) }
膠飴(微温) 人参(微温)



西洋薬理学的考察:

腸管血流を増加させる(アドレノデュリン・CGRPI)

プレバイオティクスとして働く(膠飴=オリゴ糖)

大建中湯と近縁処方

大建中湯 (人参・乾姜・山椒・膠飴)



腹痛が改善しない



中建中湯

(大建中湯 + 桂枝加芍薬湯)

腹痛・排便が不調



中建中湯加大黄

(大建中湯 + 桂枝加芍薬大黄湯)

腹痛・軟便



真武湯

麻子仁丸

＜原典＞金匱要略・五臟風寒積聚病篇

麻子仁・芍薬・枳実・厚朴・大黄・杏仁

〔生薬構成の意味〕

小承気湯 (枳実・厚朴・大黄)

に麻子仁・芍薬・杏仁を加えたもの

麻子仁 (クワ科のアサ) が主薬で、

杏仁とともに腸内を潤す

便のボリュームを増加させる

大黄で刺激して、**芍薬**で腸管の痙攣に対応する

枳実、**厚朴**で精神神経系の緊張・気うつを緩和



便秘の程度別各種薬剤の適応スペクトラム

	Mild	Moderate	Severe
酸化マグネシウム	■	■	
潤腸湯	■	■	
エロキシパット		■	
ラクツロース		■	
ビスルファート		■	■
ポリエチレングリコール		■	■
ルビプロストン		■	
通導散	■	■	■
麻子仁丸		■	■
桃核承気湯		■	■
リナクロチド			■

西野徳之(総合南東北病院消化器センター長);大野改変

酸化マグネシウムの濃度と症状

血清Mg 濃度 (mg/dL) 症状

4.9 ~	悪心・嘔吐 起立性低血圧 徐脈 皮膚潮紅 筋力低下 傾眠 全身倦怠感 無気力 腱反射の減弱など
6.1 ~12.2	ECG 異常 (PR, QT 延長) など
9.7 ~	腱反射消失 随意筋麻痺 嚥下障害 房室ブロック 低血圧など
18.2 ~	昏睡 呼吸筋麻痺 血圧低下 心停止など

改変引用: 中村孝司. 日本医事新報(3540):177 - 178 (1992)

木村琢磨. JIM 18(11):942- 943(2008)

酸化マグネシウムとの併用注意薬

Caの血中濃度上昇	Vit.D製剤	
効果減弱	ニューキノロン系抗菌薬	レボフロキサシン トスフロキサシン ガレノキサシン
	抗生剤	セフジニル ミノサイクリン ドキシサイクリン
	ビスホスフォネート	アレンドロ酸 ミノドロン

臍周困部痛

桂枝加芍藥大黃湯

桂枝加芍藥湯

過敏性腸症候群
漢方の第一選択薬

→ 便秘

→ 便秘・下痢

↑ 腹脹(寒証)

↓ 腹脹(寒証)

大建中湯

小建中湯

症例 39歳 男性 下痢と腹痛

〔既往歴〕 低体温症
(34.8°C~35.1°C)
小児期に腸重積

〔現病歴〕 明け方に腹痛を伴った下痢が出現

〔漢方所見〕

望診: 顔面は青白い

舌診: 齒痕, 淡紅色, 白苔, 裂紋

問診: 毎年冬は腹痛・頭痛・フラツキがある

切診: 弱脈, 腹診では全体に軟で寒



症例 39歳 男性 下痢と腹痛

〔処方・経過〕 初診

初診 : 青白い顔色. 白苔, 舌質淡紅色 → **寒証**

明け方の下痢(**鶏鳴瀉**) → **真武湯**を処方

2週間後 : 体温35.9°C. 快適と. 腹痛改善

1ヶ月後 : 体温36.6°C. 頭痛・眩暈・下痢なし

胃痛出現し, **真武湯**に**安中散**を併用

4ヶ月後 : **真武湯**合**安中散**で快適に過ごしている

真武湯

茯苓・蒼朮・芍薬・生姜・附子

〔薬能〕 茯苓・蒼朮 = 苓朮剂(利水)

生姜・附子 = 温補

芍薬は鎮痙作用 総じて **温裏利水剂**

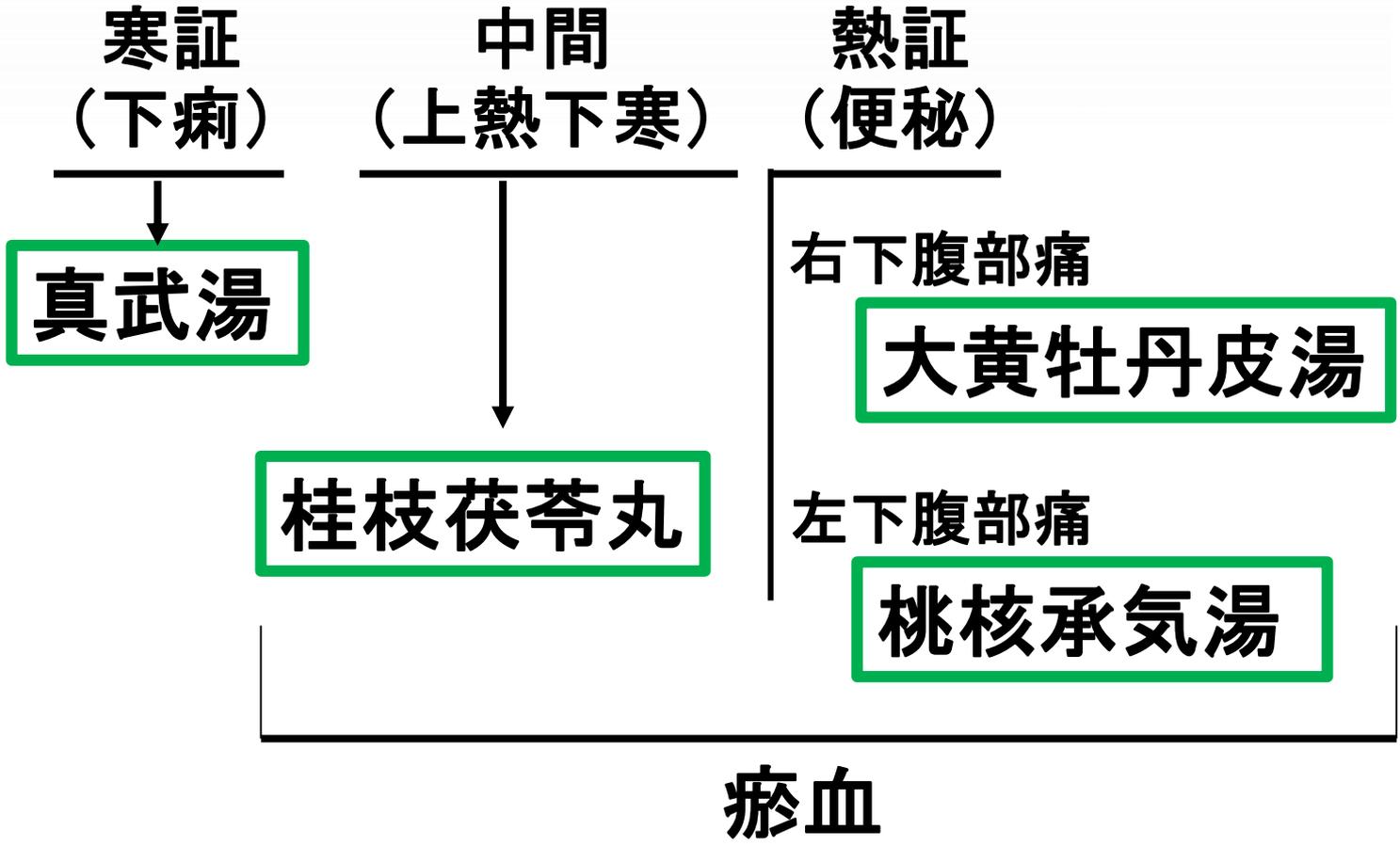
〔目標〕 冷え症 下腹部痛 下痢

随伴症状 → 眩暈, 動悸, 身体が重い

〔応用〕 冷えと水毒による各種病態

下腹痛を伴った下痢. 低体温症. 眩暈

下腹部痛



腹痛に対する漢方薬選択の目安

心窩部痛

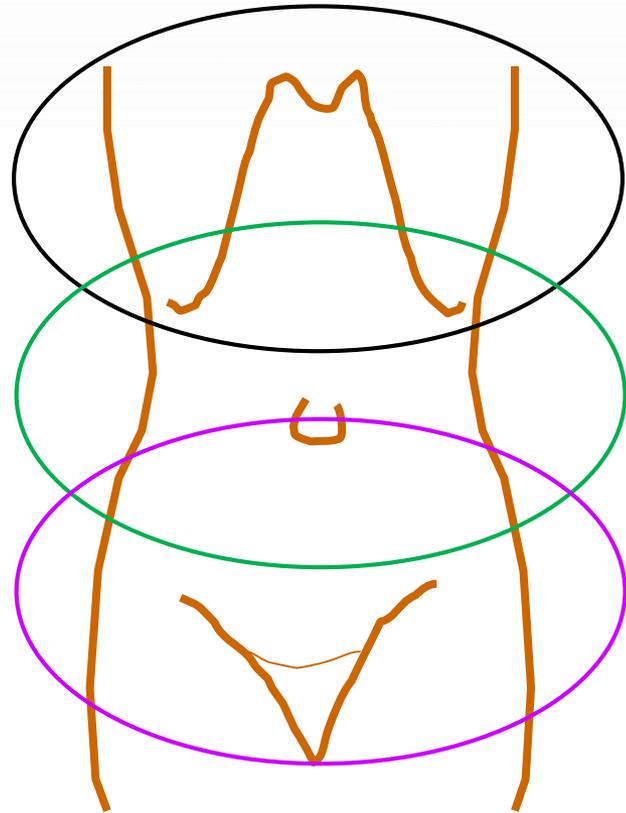
安中散 黄連湯
附子理中湯

臍周囲痛

桂枝加芍薬湯類

下腹部痛

真武湯 駆瘀血剤



漢方薬の特質

☆二重盲検試験で創られた
西洋薬

☆リアルワールドで磨かれた
漢方薬

大同城壁遺跡

Datong City Wall

